

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ことばの教室ことのは		公表日		令和 8年 4月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	訓練等の目的に応じて、部屋が分かれています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	必要に応じて、利用者と1対1に近い配置にて、療育を行っています。	利用児童の人数が多い時には、法人内の他教室より協力体制を整える等の対策を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	バリアフリー化が行き届いていない部分もありますが、室内環境では、階段や床に保護マットを敷き、角部分には緩衝材を取り付け危険のないようにしています。	死角になる部分が多くなるので事故防止には配慮が必要になっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	活動目的に合った環境づくりを行っており、子ども達が好きな部屋で楽しく活動ができるようにしています。	集団活動を行う際には、臨機応変に遊具の配置の工夫するなどし、安全に向けて配慮する対応をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	活動目的に合った環境づくりを行っており、子ども達が好きな部屋で楽しく活動ができるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	0	終業前後にミーティングを実施して、その中で業務改善の話を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	自己評価の結果を踏まえ、改善できる点は速やかに改善を行うようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	毎月、管理者と面談を行う事で必要に応じて業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	定期的に法人内にて情報交換会を実施しており、要望に沿って勉強会を行っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	事業所内にて、支援プログラムを公表、設置して、いつでも閲覧ができるようになっています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0		個別支援会議をその都度行っていますが、その時間の確保等、今後も創意工夫が必要だと考えています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	児童発達支援管理責任者を中心に、個別支援会議を開催して、支援の改善や共通理解に努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	個別支援会議にて共有することで、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	評価表・アセスメントシートにて、児童の状況を分析し、職員間で共有しています。	保護者へ発達理解の指針となれるよう、定期的に児童の評価を行える体制を整えていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1	保護者からの要望も踏まえて、児童それぞれの適性に応じた支援内容を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	適宜、その日の状況に合わせて、子ども達が楽しめる活動プログラムを話し合い、実施しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	日々、子ども達の要望を確認しながら活動プログラムを検討しています。子ども達の状況に合わせて、屋内・屋外それぞれでも活動ができるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	子どもの興味関心に合わせて、集団活動を取り入れながらも、個別活動を重視した個別支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	日々のデイリー（活動予定表）を基に、役割分担を確認しています。状況の変化に合わせて、臨機応変に対応しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	終礼を実施しており、児童の様子や支援の検証をしています。ネット活用を行い、職員間で情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	記録は徹底しており、定期的に振り返りを行い支援の検証を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	保護者からのアセスメントや普段の支援記録を基に、定期的にモニタリングを行い、支援内容の検討を常に行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	11	0	その日の子ども達の状況に合わせて変えていきながら、適宜プログラムを変えて、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	日々の活動をこども達に確認しながら、自己決定が行えるように配慮しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	事前に情報共有会議を行い、児童発達支援管理責任者や担当職員が状況に合わせて参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	定期モニタリング以外にも必要に応じて担当者会議を行う等、情報共有と相互理解を行うようにしています。	医療ケア等が必要な児童が利用を希望される場合には連携を図っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	電話やLINE等で情報共有を行い、職員間では日課表を作成して、連絡調整を図っている	保護者からの連絡漏れがあるので、必要に応じて、事前に事業所からも情報確認を行うようにします。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	0	定期モニタリング以外にも必要に応じて担当者会議を行う等、情報共有と相互理解を行うようにしています。	定期モニタリング以外でも、日々園や学校とコンタクトをとっていきながら、移行支援へと繋がるようにしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	7	各種研修に参加して、職員間でその内容の伝達を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	7		定期的な交流する機会は設けておりませんが、地域のイベント等に参加した際に交流する機会を設けています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	4		自立支援協議会こども部会に参加できるように体制を整えていきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	日々対面にて共有しており、面談が困難な場合にはお電話にて共有しています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	保護者からの相談に応じて、必要な情報を提供しています。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	管理者より説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	保護者、児童への聞き取りを行いながら日々支援を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	児童発達支援管理責任者より説明を行い同意を得る様にしています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	保護者よりの相談等がありましたら、都度対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	5		今後、保護者からの要望を踏まえながら、必要に応じて、保護者会の開催等の検討を行っていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	相談等があった際には対応しています。また、必要に応じて、ミーティングを行い、その対応策を検討して提案しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	定期的にブログを更新し、活動の様子や支援に関する情報を紹介しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	名前などが記載されている用紙等の取り扱いに配慮しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3	ホームページを通して、活動の情報を積極的に発信しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	各種マニュアルを策定して、職員間で共有しています。	各種マニュアルは適宜更新していますが、事務所にて保管していますので保護者への周知には課題があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	業務継続計画は適宜更新を行っており、年に2回避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1	アセスメントにて、情報収集して、職員間で共有しています。また、対処方法を皆で学ぶ機会をつくっています。	服薬依頼があった際は、保護者へ与薬依頼書への記入をお願いしています
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1	事前に保護者へ聞き取りを行っており、職員間にて周知しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画を作成しており、定期的に更新や点検を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		子ども達の安心・安全支援プログラムの内容やその実施の周知を行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	終礼での報告にて共有、書面で共有し再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1	虐待防止委員会を通じて定期的に研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1	必要に応じて、計画立案を行い、個別支援計画に記載します。また、身体拘束の事例が発生した際には、法人内の身体拘束適正化委員会にて対応を協議しています。		